

平成30年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年12月8日

上場会社名 株式会社丹青社

上場取引所 東

コード番号 9743 URL <http://www.tanseisha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 貴志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務

(氏名) 戸高 久幸

TEL 03-6455-8104

四半期報告書提出予定日 平成29年12月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の連結業績(平成29年2月1日～平成29年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	55,316	0.7	3,404	△8.5	3,521	△8.7	2,333	△7.2
29年1月期第3四半期	54,927	14.0	3,720	51.4	3,855	55.5	2,513	△35.1

(注)包括利益 30年1月期第3四半期 2,622百万円 (7.3%) 29年1月期第3四半期 2,445百万円 (△42.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第3四半期	48.51	—
29年1月期第3四半期	52.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第3四半期	41,545	24,432	58.8
29年1月期	41,205	23,110	56.1

(参考)自己資本 30年1月期第3四半期 24,432百万円 29年1月期 23,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年1月期	—	15.00	—	—	—
30年1月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の連結業績予想(平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,400	3.7	4,200	6.9	4,300	4.5	2,850	8.5	59.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年1月期3Q	48,424,071 株	29年1月期	48,424,071 株
② 期末自己株式数	30年1月期3Q	315,797 株	29年1月期	314,337 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年1月期3Q	48,109,102 株	29年1月期3Q	48,110,350 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足資料は平成29年12月8日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年2月1日～平成29年10月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善していることや、個人消費が緩やかに持ち直していること等から、緩やかな回復基調が継続しました。

当ディスプレイ業界の事業環境につきましては、公共投資は堅調に推移し、企業の設備投資にも持ち直しの動きがみられる等、堅調に推移しました。

このような状況のもと当グループは、中期経営計画（平成28年1月期～平成30年1月期）に基づき、安定・確実な成長を持続させるとともに、優れた価値創出で他を圧倒することを目標に、事業活動を展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は553億16百万円（前年同四半期比0.7%増）となりましたが、収益性は前年同四半期に及ばず、営業利益は34億4百万円（前年同四半期比8.5%減）、経常利益は35億21百万円（前年同四半期比8.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億33百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

また、当第3四半期連結累計期間の受注高は576億14百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

資産の部の合計額は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、415億45百万円となりました。

これは、主に現金預金が33億70百万円減少したものの、有価証券が11億2百万円、未成工事支出金等が15億78百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債の部)

負債の部の合計額は、前連結会計年度末に比べて5.4%減少し、171億13百万円となりました。

これは、主に未払法人税等が5億5百万円、賞与引当金が4億17百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産の部)

純資産の部の合計額は、前連結会計年度末に比べて5.7%増加し、244億32百万円となりました。これは、主に剰余金の配当を12億98百万円行ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を23億33百万円計上したため、利益剰余金が10億34百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

概ね計画どおりに進捗しており、平成29年3月10日に発表した、平成30年1月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	14,196,468	10,826,103
受取手形・完成工事未収入金等	8,247,197	8,787,250
有価証券	1,999,837	3,102,246
未成工事支出金等	7,552,814	9,131,142
その他	1,056,433	1,009,531
貸倒引当金	△29,513	△36,247
流動資産合計	33,023,237	32,820,027
固定資産		
有形固定資産	1,016,531	1,073,183
無形固定資産	187,479	145,319
投資その他の資産		
投資有価証券	3,990,518	4,315,281
退職給付に係る資産	1,959,080	2,186,177
その他	1,834,261	1,815,285
貸倒引当金	△805,498	△809,294
投資その他の資産合計	6,978,361	7,507,448
固定資産合計	8,182,372	8,725,951
資産合計	41,205,610	41,545,979
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	7,975,475	8,294,334
短期借入金	56,488	—
1年内償還予定の社債	600,000	500,000
未払法人税等	1,063,267	558,245
未成工事受入金	3,618,259	3,603,827
賞与引当金	852,586	435,335
その他の引当金	299,811	182,762
その他	1,704,379	2,080,299
流動負債合計	16,170,268	15,654,804
固定負債		
社債	500,000	—
長期借入金	100,000	—
退職給付に係る負債	13,809	15,912
引当金	77,247	66,849
その他	1,234,043	1,375,812
固定負債合計	1,925,101	1,458,574
負債合計	18,095,369	17,113,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,026,750	4,026,750
資本剰余金	4,024,974	4,024,974
利益剰余金	14,224,952	15,259,774
自己株式	△76,166	△77,838
株主資本合計	22,200,510	23,233,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,106,851	1,335,339
繰延ヘッジ損益	△455	—
為替換算調整勘定	70,651	69,422
退職給付に係る調整累計額	△267,317	△205,823
その他の包括利益累計額合計	909,729	1,198,938
純資産合計	23,110,240	24,432,600
負債純資産合計	41,205,610	41,545,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	54,927,347	55,316,870
売上原価	45,217,677	45,730,970
売上総利益	9,709,669	9,585,899
販売費及び一般管理費	5,989,412	6,181,444
営業利益	3,720,257	3,404,454
営業外収益		
保険配当金	40,324	41,738
その他	143,250	130,539
営業外収益合計	183,574	172,277
営業外費用		
損害賠償金	5,875	24,638
その他	42,333	30,518
営業外費用合計	48,209	55,156
経常利益	3,855,623	3,521,575
特別利益		
投資有価証券売却益	16,478	2,432
特別利益合計	16,478	2,432
特別損失		
投資有価証券売却損	1,063	—
投資有価証券評価損	244	—
ゴルフ会員権評価損	450	—
特別損失合計	1,757	—
税金等調整前四半期純利益	3,870,344	3,524,007
法人税、住民税及び事業税	1,218,241	1,113,877
法人税等調整額	138,275	76,357
法人税等合計	1,356,516	1,190,234
四半期純利益	2,513,827	2,333,773
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,513,827	2,333,773

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年2月1日 至 平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年2月1日 至 平成29年10月31日)
四半期純利益	2,513,827	2,333,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△119,167	228,487
繰延ヘッジ損益	△14,022	455
為替換算調整勘定	15,851	△1,228
退職給付に係る調整額	48,106	61,494
持分法適用会社に対する持分相当額	912	—
その他の包括利益合計	△68,319	289,208
四半期包括利益	2,445,508	2,622,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,445,508	2,622,981

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。